

令和元年度吉敷地区地域づくり協議会総会、吉敷自治会代議員会、
吉敷地区社会福祉協議会代議員会 会議録

開催日時	令和元年5月10日（金曜日）18:00～20:00
開催場所	吉敷地域交流センター講堂
出席者	別紙のとおり
内容	<p>1. あいさつ</p> <p>【小田会長】 挨拶</p> <p>【岡本会長】 挨拶</p> <p>【木村会長】 挨拶</p> <p>2. 議長及び議事録署名人の選出</p> <p>【事務局】 議長及び議事録署名人の選出について諮ったところ、執行部に一任する声があったため、議長を中村町内会代議員の田中氏に、議事録署名人を中村町内会代議員の吉田氏及び下東町内会代議員の永久氏を指名し、承認された。</p> <p>【議長】 挨拶</p> <p>【議長】 議事に入る前に代議員の出席状況について執行部の報告を求める。</p> <p>【事務局】 出席者33名、委任状7名、合計40名で、代議員総数52名の過半数に達していることから、それぞれの会則の規定により総会及び代議員会が成立している旨の報告を行った。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成30年度事業報告及び決算報告、監査報告について</p> <p>【議長】 執行部に説明を求めた。</p> <p>【役員】 それぞれの事業報告を行った。</p> <p>【会計】 それぞれの決算報告を行った。</p> <p>【監事】 それぞれの監査報告を行った。 ひとりの幹事より、地区社会福祉協議会事業について福祉目的を限定的に捉えた事業運営をしていただきたい旨、意見があった。</p> <p>【議長】 監事より地区社協の事業について意見があったため、執行部に発言を求める。</p>

【林前社協会長】

ご意見を厳正に受け止め、今後は、理事会等で社協事業について検討していきたい。

【議長】

質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。
拍手多数と認め、議事（１）は承認された。

（２）役員等の改選について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【役員】

資料に沿って説明した。

【議長】

人事案件のため、承認される代議員の拍手を求める。
拍手多数と認め、議事（２）は承認された。

（３）令和元年度事業計画（案）及び予算（案）について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【役員】

それぞれの事業計画（案）を説明した。

【会計】

それぞれの予算（案）を説明した。

【環境】

自治会予算書（案）の消防費に、新規に出動手当補助とあるが、これはどんなものか。また、地域防災費の説明の中で、「体制が整ったら」という話が何度もあったが、現在、どの程度整っているのか。

【岡本会長】

地区防災会組織の各々の担当部に、各町内会・自治会から防災員の選出をお願いしているが、まだ整っていない。無線機は充実した組織の中で整備することとしているが、今は組織的に充実していないため保留となっている。組織は、現在、８割程度整っているのでもう少し各町内会・自治会から協力がほしい。出動手当補助については、消防団から回答していただいた方が皆さんによりわかりやすいと思うので、お願いしたい。

【消防団】

普段、消防団員はそれぞれが仕事を持っており、緊急時にはその仕事を置いて対応している。消防団としては団員の増加を望んでいるが、なかなか難しく５０才が平均年齢となっている現状である。出動手当として費用弁償はあるが少額である。鴻南の他地域では、消防後援会から出動手当補助を付けておられると聞いているので、それにならってこのたびお願いした。交通費などの意味合いになるが、少しでも団員の負担軽減になり、団員の増加にもつながれば良いと思う。

【代議員】

大雨などの際に何か危険予知を察知したら、どこへ連絡すれば良いかを

早急に決めていただきたい。そのようなときの連絡先を町内に貼っておき、咄嗟に対応できるようにしたらどうか。忘れた頃に災害はやってくると言われる。そうすることにより、少しでも災害による被害を防ぐことが出来たらと思う。連絡先を大きくプリントしてほしい。

【岡本会長】

組織が出来上がらないと連絡先を決められない。確実に地域を守るという意識で、無線機の管理も含めて今年度中に検討し、組織を固めたい。そのためにも協力をお願いしたい。

【商工会】

地域づくり協議会予算書（案）の雑収入に吉敷さんぽ販売代があるが、これは50冊ではないか。この本の印刷代はどこに計上しているのか。また、カレンダーの販売が今年度も300冊となっているが、昨年度は早々に300冊完売したと聞いている。大変人気のあるカレンダーであるなら、もっと増刷をしてもいいのではないか。

【事務局長】

吉敷さんぽの販売数は、申し訳ないが50冊の誤り。印刷費については、29年度に印刷しているので、計上していない。

【木村前会計】

カレンダーは、予算では300冊として計上した。

【監事】

地域づくり協議会予算書（案）の繰入金にある地域交流センター運営協議会からの人件費が減額となった理由は何か。なぜその分を地区社協が負担しなければならないのか。

【木村前会計】

事務局の体制は、事務局長を除く4人の非常勤職員がいる。昨年度までは行政の窓口業務も担っていたが、事務量の増大に伴い、今年度から行政の窓口業務は担わないことになり、地域交流センター運営協議会が直接1人雇用した。そのため、減額となった人件費を自治会と地区社協が按分し、負担することになった。地区社協の負担金額が多いのは、圧倒的に事務量が多いためである。

【議長】

他に質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。

拍手多数と認め、議事（3）は承認された。

今年度の役員改選により、会長に就任された小田地域づくり協議会会長、岡本自治会長、木村地区社会福祉協議会会長に挨拶を依頼した。

【小田会長】

挨拶

【岡本会長】

挨拶

【木村会長】

挨拶

【議長】

以上をもって議事を終え、議長を退任する。

	<p>4. その他 【事務局】 出席者に意見を求めたが、なかったため閉会とした。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>吉敷地区地域づくり協議会・吉敷自治会・吉敷地区社会福祉協議会 (TEL・FAX) 083-922-3344</p>

以上の議決事項を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

令和元年 5月 22日

議長

田中公吉



議事録署名人

永久ひろみ



議事録署名人

吉田 厚希

